

第6次津久見市総合計画に対するパブリックコメントへの回答

該当部分	意見	担当課	回答	修正の有無	修正・新設	修正文等
基本構想	地域とのつながりが津久見市最大の強みについて 地域とのつながりが津久見市最大の強みととらえ、10年後の将来像を決めたテーマの響きは、とてもいいと思う。しかし、地域のつながりの希薄化、自治会運営の大変さなど課題は多い。そんな中、学校の果たす役割は大きいと考える。学校は、地域コミュニティの場、伝統文化継承、地域の活力の元であると思う。学校を核とした、地域づくりをこれからも考えて欲しい。	・学校教育課 ・総務課	津久見市の小中学校では、来年度から教育課程に「つくみ学」を位置づけ、津久見の産業や歴史文化等を学び、ふるさとを愛する児童生徒の育成を目指します。これからも地域とのつながりを大切し、地域とともにある学校づくりを推進します。また、学校がない地域もありますが、地域の方のご意見も聞きながら、地域コミュニティ活動を推進していきたいと考えています。	無		
施策分野6 道路ネットワーク	国道217号平岩松崎バイパスの完成を見据えて、施策①に「都市計画道路高洲中の内線の整備検討」といった文言を記載できないか検討ください。	・まちづくり課	都市計画道路高洲中の内線の整備は、市中心部の活性化や津久見駅南北のアクセス向上において、非常に重要であると認識しております。一方で、市民から要望のある路線や、災害時の避難路としての機能を担う路線など、他にも重要な道路整備が複数存在しております。そのため、各路線の重要性を総合的に勘案し、優先順位を整理した上で、慎重に検討してまいりたいと考えております。	無		

該当部分	意見	担当課	回答	修正の有無	修正・新設	修正文等
施策分野9 防災・減災対策	能登の地震を踏まえた対応として、四浦半島や長目半島を抱える市の計画に半島対策や孤立集落対策を盛り込むべきだと思います。また、施策に沿ったKPIを設定するべきだと思います。	・防災危機管理室	ご意見につきましては、半島部を抱える本市にとりまして、貴重な視点でありますので、施策・KPIを追加したいと思います。	有	新設	P85 施策① 3ポツ目 ・東日本大震災や能登半島地震の教訓を踏まえ、大規模災害時に孤立する可能性のある地域への対策として、公設の備蓄倉庫の増設などにより、食料などの分散備蓄をすすめます。 KPI項目：公設備蓄倉庫(離島・半島部) 現状値(2024) 4箇所 目標値(2030) 12箇所
施策分野12 地域経営	施策②の内容が地域の取組というよりも市の行政運営の取組になっており、施策としてこの位置に並べるのは不自然な気がします。むしろこの位置には、施策分野29の地域コミュニティを持ってきて、記載されている取組は「経営を支える行財政基盤の整備」などとして、3つの柱とは別枠で整理してはどうでしょうか。	・経営政策課	施策分野12の地域経営については、津久見市が主体となって、津久見市という地域をどう経営していくのかという観点から設定したものです。ご意見のとおり安定的な行財政運営については、全ての施策に関連するものではありませんが、行財政の安定的な運営がひいては市民の安心安全につながることから、「安心」の柱の最後に設定をいたしましたので、現行どおりしたいと思います。	無		

該当部分	意見	担当課	回答	修正の有無	修正・新設	修正文等
施策分野12 地域経営	住民のニーズを把握する方法は、アンケート、パブリックコメント、意見交流会などが考えられる。また、それ以外にも各団体が代表となった検討委員会というものがあるようだが、団体代表は、団体の意見をまとめる代表になっているのか？検討委員会の内容が、団体会員に伝わっておらず、いつの間にか決まっていたということが津久見市ではずっと続いているように思う。市民の意見を吸い上げる仕組みを作って欲しい。	・全課	<p>様々な計画を策定するに当たっては、関係分野の全ての方からご意見を聴取することは困難なため、意見集約の観点から、各分野に精通されている方、各団体の代表の方を委員に選任し、意見をいただいているところです。</p> <p>例えば、総合計画の審議会では、様々な分野の委員の方がおられますが、計画策定に係る有益なご意見をいただいています。団体の代表の方と団体会員の問題とそれが津久見市に限った問題かという点については不明であり、回答を差し控えたいと思いますが、より多くの意見が集まるような取組はしていきたいと考えています。</p> <p>そのほかにも重要な決定をする案件につきましては、市民向けの説明会を開催し、意見を求めることも行っておりますので、引き続き、市民の意見が届くような仕組みづくりに努めていきたいと考えています。</p>	無		

該当部分	意見	担当課	回答	修正の有無	修正・新設	修正文等
施策分野12 地域経営	パブリックコメントについては、市役所・図書館などは受付簿に住所氏名を書くようになっている。しかし、ホームページで公開されていれば誰でも自由に見ていいのではないかと思う。名簿に名前を書くことで前の人の個人情報も知ることになる。新庁舎ができれば、パブリックコメント募集コーナーを作るなど、たくさんの意見が集まるような仕組みにしてみたい。	・全課	ご意見のとおり、素案の閲覧については、HPでも可能のため、今後行うパブリックコメントについては、閲覧に限っては住所の記入を求めない形にしていきたいと考えています。 また、広聴の充実という観点から新庁舎にパブリックコメント募集コーナーを作ってはというご意見と認識しておりますが、パブリックコメントの実施自体はそこまで多くありませんので、専用のコーナーを作るのがいいのか、運用によって今よりも市民の方が見やすい方法があるのかは新庁舎に移行後に検討していきたいと思います。 パブリックコメント以外にも、市民の方からご意見を頂けるよう意見箱は、新庁舎及び各施設に設置してまいります。	無		
施策分野20 公共空間・住環境	津久見市の自然は、若い人にも人気があると聞いている。つくみん公園は、市外からの人も多く利用しているが、新庁舎や交流施設が整えば、市民もたくさん利用するであろう。以前から、ベイスайд計画があるように聞いている。できるだけ早く、ウッドデッキやベンチなどの整備をして、たくさんの人の憩いの場になるようにしたい。	・まちづくり課	つくみん公園からは海や工場を臨むことができ、津久見らしさを感じられる場所であると認識しています。新庁舎建設に合わせて海側の魅力向上を目的とした緑地整備を計画しております。来訪者が集い、憩える場所となるよう、ウッドデッキやベンチ等の設置を含め、今後詳細な設計等を進めていきたいと考えています。	無		

該当部分	意見	担当課	回答	修正の有無	修正・新設	修正文等
施策分野25 社会教育	公民館として、新しい出発をする旧二中は、ぜひとも市民からの声をたくさん入れ、1日そこで多くの世代の人が過ごせるような交流の場にして欲しい。	・生涯学習課 ・経営政策課	R8.5月以降社会実証実験として1年間程度、管理教室棟2階の教室を市民に貸し出し、アンケートを通じて意見を聴取する。地域ニーズに応じた多様な利用方法について検討します。	無		
全体	基本計画の中にAIやDXに対する施策が見当たりません。行政はもとより、民間分野にも取組を推進するうえで必要な施策分野だと思います。	・会計財務課 ・経営政策課	<p>施策分野12 地域経営の施策②の中で、DXの推進やAI技術の活用などにより、業務の効率化を図ることについて記載をしているところですが、行政内部の内容に留まっております。</p> <p>特にAIについては、本市の取組が遅れている分野ですので、まずは、活用に向けて取組を進めていきたいと考えております。また、10年後の将来を見据えたときに、市民サービス向上にもつながるような取組も不可欠でありますので、そういった視点の記述を追記したいと思います。</p> <p>また、国や県の民間に対するDX等の支援策に注視するなど、DXの取組が市内に広がるような情報の把握に努めていきたいと考えています。</p>	有	修正	<p>P91 施策② 2ポツ目 【修正前】 DXの推進やAI技術の活用などにより、業務の効率化を図るとともに、電子申請などの拡充等により、市民サービスの向上を目指します。</p> <p>【修正後】 電子申請の拡充等のDXの推進、AI技術の活用などにより業務効率化を図るとともに、市民の利便性向上につなげていきます。</p>

該当部分	意見	担当課	回答	修正の有無	修正・新設	修正文等
全体	市民全員が知り、一緒に作っていく必要があると思う。ぜひ、1ペーパーにまとめて多くに人の目にふれるようにして欲しい。	・経営政策課	ご意見のとおり、総合計画は行政だけの計画ではなく、市民や事業者等、関係団体などと一体的に進めていくものと認識しております。今回の計画では内容が皆様に伝わるよう、長い文章ではなく、箇条書きにするなど工夫をしたところです。よりそれが伝わるよう概要版も作成することとしておりますので、1ペーパーに収まるか分かりませんが、より簡潔な内容でお伝えできるように努めたいと思います。	無		

該当部分	意見	担当課	回答	修正の有無	修正・新設	修正文等
全体	<p>総合計画は、今後5年間(10年間)で「これをする」といった具体的に目に見えるものにしたほうがいいのではないのでしょうか。市民がワクワク、ドキドキするような計画にしてほしい。</p>	・経営政策課	<p>総合計画の構成について整理をいたしますと、基本構想については、将来像や3つの柱を含めて、これからの10年間について、津久見市全体の取組の大きな方針を示したものととなります。</p> <p>その次に位置付けられている基本計画については、前期・後期の5年間に分かれており、各施策分野の課題やそれに対して、どういった取組を進めていくのか大枠の考え方を示しております。</p> <p>総合計画が市の最上位計画となりますが、その下に、それぞれの施策を進めていくための具体的な内容を記載した個別の計画が存在します。</p> <p>そのため、総合計画だけで捉えたときに抽象的に感じられる部分があるかもしれませんが、より具体的に目に見えるもの、ワクワク、ドキドキするようなものにした方がというご意見につきましては、個別の計画や事業の中で対応していきたいと考えています。</p> <p>また、実際のまちづくりの中で、中心市街地の活性化などをはじめとして、楽しいと感じてもらえるような取組を進めていきたいと考えております。</p>	無		

該当部分	意見	担当課	回答	修正の有無	修正・新設	修正文等
全体	<p>総合計画や総合戦略が実行性のある取組となるための本質的な課題は、①少子・高齢化、人口減少の危機意識をどこまで、市民と共有できるか、②変化を恐れず、変える勇気をもってゼロベースでリスクをとったチャレンジができるか、③ ①②をステークホルダーで一体となった取組(横断的な取組)を進めることができるかと考えています。</p> <p>それらの課題を踏まえて、①みんなで人財を育て将来津久見市に帰ってくる・住む仕組み作り(働く場所と住む場所の流動化)②「子育て・教育・福祉・地域」と「市民のWellBeing向上」と「帰ってくる・住む・結婚出産育てる」が繋がる仕組み作り(地域包括支援拠点作り)などの施策が考えられます。そういった施策も踏まえて議論することが重要では</p>	・経営政策課	<p>ご意見のとおり、計画は策定するだけではなく、どう実行していくかが重要だと認識しております。</p> <p>津久見市の現状を踏まえると、第6次津久見市総合計画の究極の目標でもある市民のWell-Being向上を考えたときには、全てをゼロベースで見直すことはできませんが、これまでやってきたことをただ繰り返すのではなく、見直しも必要だと認識しております。</p> <p>また、それらを進めていくためには、行政だけでなく、市民や事業者、関係団体の方とこれまで以上に意見交換をしながら、課題を共有し、取組を進めていく必要があります。</p> <p>総合計画や総合戦略については性質上、総花的な事業の記述になっている部分がありますが、ご提案いただいていますような事業の実施に向けては関係者の方と意見交換をしながらこういった取組ができるのか整理していきたいと考えています。</p>	無		